

みえ県議会だより

NO. 196

令和5年
(2023年)
4月1日



高松海岸（川越町）

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook)



▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ

委員会の活動状況

※開催回数は、令和4年5月19日から令和5年2月28日までのものです。

総務地域連携デジタル社会推進 常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化、デジタル社会の形成などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数10回】

審査・調査の概要

行財政改革取組の進捗やスポーツの推進、交通政策、南部地域の活性化、DXの推進など、多くの課題について審査・調査を行いました。

特に、南部地域は人口減少や若者の定住率の低下など、多くの課題が依然としてあり、北中部地域と比べて解消すべき差異があること、その差異が南部地域において深刻な問題をもたらしていることから、危機感を持って施策に取り組んでいただくよう県当局に要望しました。

また、AIやIoT技術を活用し県内企業の生産性向上や新たなビジネス創出などをサポートする、とちぎビジネスAIセンターの取り組みについて、現地調査を行いました。

審査した請願

○自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めることについて ほか



とちぎビジネスAIセンターの調査（オンライン形式）

戦略企画雇用経済 常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興（農林水産業を除く）、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数9回】

審査・調査の概要

人口減少対策、県立大学の設置の是非、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた観光振興、中小企業・小規模企業の復興と振興など、多くの課題について審査・調査を行いました。

特に、県立大学の設置の検討については、有識者から行う意見聴取の論点や有識者選定の考え方、今後のスケジュールを、当初予算の議論の際、明確に説明するとともに、早期に結論を出すよう県当局に要望しました。

また、農業景観を観光振興に活用した取り組み、再生可能エネルギーの状況、市町村と連携した人口減少対策等について、現地調査を行いました。

審査した議案

○「強じんな美し国ビジョンみえー及び「みえ元気プラン」の策定 ほか



人口減少対策に関する調査（北海道）

環境生活農林水産 常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数8回】

審査・調査の概要

脱炭素社会等への対応や水環境の保全、農林水産業における新型コロナウイルス感染症による影響への対応、農林水産業と福祉との連携など、多くの課題について審査・調査を行いました。

特に、「強じんな美し国ビジョンみえーおよび「みえ元気プラン」の最終案については、県産木材の利用促進に向けた積極的な取り組みの推進や、条件が厳しい中山間地域における農業振興を十分に取り込まれるよう県当局へ要望しました。

また、他の自治体における再生エネルギーの地産地活や公共施設群の脱炭素化の取り組み、藻場の再生取り組みについて、現地調査を行いました。

審査した議案

○三重県立自然公園条例の一部を改正する条例案 ほか



脱炭素化の取り組みに関する調査（北海道）

医療保健子ども福祉病院 常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数9回】

審査・調査の概要

新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、子どもが豊かに育つ環境づくりや地域共生の社会づくり等の課題について審査・調査を行いました。

特に、子どもの貧困や虐待、ヤングケアラーへの対応といった、コロナ禍で顕在化した社会課題、地域課題について、現地調査を行いました。

また、「公立病院経営強化プラン」の策定に向け、総務省準公営企業室から参考人を招致し、今後の課題について調査を行いました。

審査した請願

○知的障害者福祉法の改正及び障害者福祉施設職員の安定的な雇用に向けた必要な支援に係る意見書の提出を求めることについて ほか



子どもの自立支援に関する調査（大阪府）

防災県土整備企業 常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業（病院事業を除く）の運営などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数8回】

審査・調査の概要

防災・減災対策や、道路整備、ポストコロナを見据えた地域づくり、水道および工業用水道の耐震化・老朽化対策など、多くの課題について審査・調査を行いました。

特に、消防団員の確保について、市町に出向き消防団員の詳細な実態把握に努めるとともに、より実効性のある取り組みを県全体で進めるよう県当局に要望しました。

また、災害状況・気象情報・河川氾濫などさまざまな情報を一元管理するオペレーションシステムをはじめ、東日本大震災からの復興の取り組みや震災伝承活動について、現地調査を行いました。

審査した議案

○工事請負契約について ほか



気仙沼市議会での調査（宮城県）

教育警察 常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織運営などについて、審査・調査しています。

【委員会開催回数8回】

審査・調査の概要

新型コロナウイルス感染症による児童生徒への影響や不登校児童生徒への支援のほか、インクルーシブ教育の推進や総合的な犯罪対策などについて審査・調査を行いました。

特に、新型コロナウイルス感染症に関する対応について、コロナ禍前とは異なる環境で過ごしている児童生徒の心身への影響をしっかりと把握し、今後の施策の検討に生かすよう県当局に要望しました。

また、教育現場におけるICTの活用や被災した文化財の状況と復旧に向けた取り組み、災害時における警察の対応などについて、現地調査を行いました。

審査した議案

○三重県立熊野少年自然家の指定管理者の指定について ほか



教育現場におけるICT活用についての調査（熊本県）

予算決算 常任委員会

予算・決算など県財政全般について審査・調査しています。

「委員会開催回数16回」「各分科会開催回数55回」

審査・調査の概要

本委員会は議長を除く議員全員が所属し、部局別に6つの分科会を設け、年間を通じて予算議案・決算議案などについて、詳細に審査・調査を行いました。原油価格・物価高騰対策など速やかに実行していくための補正予算については、各定例会議において迅速かつ適切に審議するとともに、予算決算の総合的な立場から、人口減少対策への対応や財政運営について、今後の県政運営等に反映されるよう知事に申し入れを行いました。

また、新年度当初予算については、予算編成が始まる以前の段階から調査を行い、議会の意見が反映されるよう取り組みました。

審査した議案

○令和3年度三重県一般会計歳入歳出決算 ほか



委員会の様子

花や木で健やかな三重をつくる 条例策定調査 特別委員会

アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討しています。

「委員会開催回数15回」

調査・検討の概要

令和4年度は、令和3年度に実施した花や緑に関する調査を踏まえ、条例案の検討を行いました。条例案の検討に当たっては、その実効性を高めるため、令和4年7月に富山県を実際に訪れ、花や緑の活用を推進する先進的な取り組みについて調査しました。そして、令和4年12月には、委員会を取りまとめた条例案の中間案について、パブリックコメントを実施し、その結果を受けて作成した条例案の最終案を令和5年2月の全員協議会において説明し、その内容を協議しました。

なお、この条例案では、花とみどりの活用を推進するための基本理念や県の責務、花とみどりの活用の推進に関する基本的施策等を定めています。



花や緑の活用を推進する取り組みに関する調査（富山県）

市議会議長会および町村議会議長会と共に要望活動を実施

三重県議会基本条例では、他の自治体議会との連携を重要な取り組みと位置付けています。

その取り組みの一環として、県内共通の喫緊の課題である伊勢湾の黒ノリ、アサリ等の水産資源の減少について、1月25日、三重県議会、三重県市議会議長会（津市議会議長、三重県町村議会議長会（川越町議会議長）の三議長が水産庁を訪問し、水産庁次長に対して、的確な栄養塩類管理のために、関係省庁が連携して、「きれいさ」と「豊かさ」が調和した伊勢湾の実現に向けた更なる調査・研究を推進することを強く要望しました。



要望活動の様子

4年間を通じた議会活動の評価および次期改選後議会への提言

三重県議会では議員任期4年間で特に注力して実施すべき取り組みを示すとともに、その評価の仕組みをまとめた「三重県議会 議会活動計画」を議員任期の最初である令和元年度に策定し、毎年度取り組みの評価を行い、改善へとつなげています。

令和4年度はこの計画の最終年度であり、4年間の活動を検証するため、県民意識調査を実施するとともに、複数の外部有識者から評価を受け、そこで明らかになった課題と今後の対応の方向性について次期改選後（令和5年5月）以降の県議会活動につなげるよう、提言という形で取りまとめました。

この提言はホームページでご覧いただけます。



議会改革のさまざまな取り組み

大規模地震対応訓練を実施

休会中に大規模地震が発生したという想定で、県の電子申請・届出システムを活用した安否報告訓練を1月18日に、地震発生から72時間経過後に自動参集により開催する災害対策会議の訓練を2月1日に実施しました。

災害対策会議については、交通網等が途絶えて参集できない場合を想定し、正副議長を除く全ての構成員が自宅などからオンラインを使って会議を試行し、安否報告訓練の実施結果や被害状況（訓練データ）を共有する訓練を行いました。

三重県議会議員選挙のお知らせ

令和5年4月9日（日）は三重県議会議員選挙（一般選挙）の投票日です。

令和3年5月、地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」を一部改正しました。

改正内容

・定数を51人から48人とする

伊勢市選挙区（定数4人）
鳥羽市選挙区（定数1人）
↓
伊勢市・鳥羽市選挙区（定数4人）

尾鷲市北牟婁郡選挙区（定数2人）
熊野市南牟婁郡選挙区（定数2人）
↓
東紀州選挙区（定数3人）

伊賀市選挙区（定数3人）
↓
伊賀市選挙区（定数2人）

トルコ・シリアへの義援金

令和5年2月に発生したトルコ・シリア地震により亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

県議会では、2月16日に開催した代表者会議において、地震により被災した両国に30万円の義援金を議員の拠出により送ることを決定しました。

これを受けて、3月3日に、日本赤十字社三重県支部に義援金を寄託しました。

審議結果と主な開催実績

※令和5年2月14日まで

審議結果

開会会議（1月18日）

可決した議案

予算

○令和4年度三重県一般会計補正予算（第9号）ほか1件

※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

1月

18日 本会議（開会）
議案2件上程・可決
予算決算常任委員会各分科会
議案の審査、所管事項の調査
予算決算常任委員会
議案の審査

2月

26日 戦略企画雇用経済常任委員会
所管事項の調査
2日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
パブリックコメントによる意見への対応案の検討について 他
7日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会
条例案について 他

※この他にも、議会運営委員会、議会改革推進会議役員会、代表者会議、全員協議会、議案聴取会、広聴広報会議など、さまざまな会議を開催しました。
※本会議等はインターネット中継や録画配信でもご覧いただけます。